

評価項目表（付加項目）

番号	評価項目	自己評価	第三者評価	評価の根拠	特記事項
A-1	利用者の尊重				
A-1-(1)-①	コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	a ㉞ c NA	a ㉞ c NA	意思表示が十分でない利用者について、写真等を使いコミュニケーションを図っている。	利用者の意向や真のニーズを把握するために、最適なコミュニケーション手段を工夫することが期待される。
A-1-(1)-②	利用者の主体的な活動を尊重している。	㉠ b c NA	a ㉞ c NA	障害特性に応じた4つのグループに分け、障害程度に合わせて主体的な日中活動が行えるよう努めている。	利用者の意向や真のニーズを把握するためのアセスメント力を高め、利用者が望む主体的な活動をさらに支援していくことが期待される。
A-1-(1)-③	利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	a ㉞ c NA	a ㉞ c NA	個別支援確認書により、職員が見守り・支援するための情報や方法が共有されるように努めている。	利用者の個性に合わせた日常生活が送られるよう、支援・見守りが行われることが期待される。
A-1-(1)-④	利用者のエンパワメントの理念にもとづくプログラムがある。	a ㉞ c NA	a ㉞ c NA	障害特性に応じた4つのグループに分け、障害程度に合わせて、日中活動プログラムが行われている。	利用者へのアセスメントを工夫し、さらなる自立支援のためのプログラムが行われることが期待される。
A-2	日常生活支援				
A-2-(1)-①	サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	㉠ b c NA	㉠ b c NA	利用者一人一人に対して、個別支援確認書を作成したうえで、給食委員会を設けて検討しながら、食事サービスを提供している。	
A-2-(1)-②	食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	㉠ b c NA	㉠ b c NA	利用者の嗜好調査・残渣調査を実施し、利用者個別に考慮した献立を作成している。	
A-2-(1)-③	喫食環境（食事時間を含む）に考慮している。	a ㉞ c NA	a ㉞ c NA	障害特性に応じた4つのグループごとに食事場所を設け、活動の場でも食することができるよう、弁当にしたりと工夫されている。	さらに楽しく食事ができるよう、雰囲気づくりに努めることが期待される。
A-2-(2)-①	入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	㉠ b c NA	㉠ b c NA	利用者の特性に配慮した入浴介助を行っている。	
A-2-(2)-②	入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	㉠ b c NA	㉠ b c NA	基本的に日曜日以外は、毎日15時以降に入浴できるようになっているほか、設定された時間以外にも入浴できる体制になっている。	
A-2-(2)-③	浴室・脱衣場等の環境は適切である。	㉠ b c NA	㉠ b c NA	ユニットごとに浴室を完備し、環境整備に努めている。	
A-2-(3)-①	排泄介助は快適に行われている。	㉠ b c NA	㉠ b c NA	排泄内容の管理は医務担当が中心に行い、排泄介助方法は、個別支援確認書を活用して行われている。	

番号	評価項目	自己評価	第三者評価	評価の根拠	特記事項
A-2-(3)-②	トイレは清潔で快適である。	Ⓐ b c NA	Ⓐ b c NA	全ユニットに障害に対応するトイレの環境を整備している。	
A-2-(4)-①	利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	Ⓐ b c NA	Ⓐ b c NA	衣服の選択については、利用者や保護者と相談し、要望に沿って購入している。	
A-2-(4)-②	衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	Ⓐ b c NA	Ⓐ b c NA	衣服の着替え等への支援は適切である。	
A-2-(5)-①	利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	a Ⓑ c NA	a Ⓑ c NA	利用者や保護者の希望を聴き、個性を尊重した対応を行っている。	利用者とのコミュニケーションを工夫することにより、さらに個性や好みを尊重した支援を行うことが期待される。
A-2-(5)-②	理髪店や美容院の利用について配慮している。	Ⓐ b c NA	Ⓐ b c NA	理美容業者が月1回来所し、利用者や保護者の要望に沿って対応しているほか、施設外の理美容店を利用する場合は送迎して対応している。	
A-2-(6)-①	安眠できるように配慮している。	Ⓐ b c NA	Ⓐ b c NA	全員個室対応となっており、壁、布団など、それぞれに安心・安眠できる工夫がされている。	
A-2-(7)-①	日常の健康管理は適切である。	Ⓐ b c NA	Ⓐ b c NA	医務担当からケア担当への指導を行っているほか、医療機関と連携をとり、健康管理をしている。また、週1回作業療法士を招いてのリハビリ活動も取り入れている。	
A-2-(7)-②	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	Ⓐ b c NA	Ⓐ b c NA	医務担当からケア担当への指導を行っているほか、医療機関と連携している。また、療育支援マニュアルを整備し適切に対応している。	
A-2-(7)-③	内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	Ⓐ b c NA	Ⓐ b c NA	服薬管理等に関するマニュアルを整備し、医務担当を中心に対応している。	
A-2-(8)-①	余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	a Ⓑ c NA	a Ⓑ c NA	利用者や保護者の希望を聞き、余暇・レクリエーションを行っている。	自ら希望の意思を表せない利用者に対しても、適切なアセスメントをもとに希望をくみ上げることが期待される。
A-2-(9)-①	外出は利用者の希望に応じて行われている。	a Ⓑ c NA	a Ⓑ c NA	日中活動を充実し、外出機会を増やしているが、個々の希望に対して十分に対応できていない。	利用者の外出機会をさらに増やしていくために、見守り・支援体制を充実させることが期待される。
A-2-(9)-②	外泊は利用者の希望に応じて行われている。	Ⓐ b c NA	Ⓐ b c NA	外泊に関して、利用者や家族の希望に応じて対応している。	
A-2-(10)-①	預かり金について、適切な管理体制が作られている。	Ⓐ b c NA	Ⓐ b c NA	預かり金管理規程に基づき、体制を整備し、収支の内容は定期的に家族に知らせてしている。	
A-2-(10)-②	新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意思や希望に沿って利用できる。	Ⓐ b c NA	Ⓐ b c NA	利用者の希望どおり、新聞を購入したり、テレビなどの持ち込みを可能としている。	

番 号	評 価 項 目	自 己 評 価	第 三 者 評 価	評 価 の 根 拠	特 記 事 項
A-2-(10)-③	嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意思や希望が尊重されている。	① b c NA	① b c NA	利用者の希望に合わせ、ジュースやおやつなどを購入できるようにしている。	